

2019年1月から2022年3月までに当院で

胸部ステントグラフト内挿術（TEVAR）を施行した患者様へ

## 「スペクトラルCTを活用した大動脈内脆弱プラークの解析」

臨床研究へのご協力のお願い

### 1. はじめに

胸部大動脈瘤治療では近年低侵襲(体に負担の少ない)である胸部ステントグラフト内挿術が増加しています。胸部ステントグラフト内挿術は太腿(ふともも)の付け根の大動脈に7-8mm程度の太目のカテーテルを挿入して行う治療です。開胸手術には耐えられない高齢患者さんにとっては唯一無二の治療方法といえます。

### 2. 研究の目的

胸部ステントグラフト内挿術の問題点として大動脈壁内面に“粥腫(じゅくしゅ)=プラーク”と呼ばれるカス(コレステロールや白血球の塊)がべったり付着している場合が挙げられます。胸部ステントグラフト内挿することで脆弱なプラーク(粥腫)が大動脈壁内面に存在する場合、それが剥がれて末梢動脈をつまらせてしまう(塞栓する)リスクが高いことが明らかになっています。実際に当科でも多発脳梗塞・脊髄梗塞に伴う対麻痺、多発塞栓による臓器血流障害を起こした患者さんが残念ながら少数おります。ただ実際にどういった性状のプラーク(粥腫)が、脆弱で大動脈壁内面から剥がれて塞栓源となるかは不明です。手術施行してよいか判断に困るプラーク(粥腫)をお持ちの方が多数いらっしゃいます。本研究では胸部ステントグラフト内挿術後に塞栓による合併症を起こした少数の方と、合併症を起こさなかった方のスペクトラルCT画像を比較して、合併症を起こしやすい大動脈内脆弱プラーク(粥腫)の性状や解剖学的分布を明らかにしたいと考えています。

### 3.研究の方法

この研究では、みなさまのカルテ等に記載されている情報を、研究に使用させていただきます。

胸部ステントグラフト内挿術を受けられた患者さまの術前、術後スペクトラル CT 画像検査で得られたデータを解析します。データは匿名化して解析しますので、個人情報確実に保護いたします。この研究は手術を行う際に施行する通常検査のデータを活用するもので、追加検査をお願いすることはありません。

解析結果は、学会や論文等で発表する予定です。発表する際には、データは個人情報とは完全に分離した形で扱い、個人情報は含まれず患者様やご家族の個人が特定されることもありません。また他の研究への利用もありません。この研究のために使われる患者様・ご家族の情報は全て、本研究の最終の公表をされた日から 10 年経過後、適切に廃棄いたします。

### 4.研究組織

研究責任者	東京都健康長寿医療センター	血管外科	松倉 満
研究分担者	東京都健康長寿医療センター	心臓血管外科	河田 光弘
	東京都健康長寿医療センター	血管外科	花田 和正
	みなみ野循環器病院		望月 純二
	みなみ野循環器病院		三澤 慎也
	みなみ野循環器病院		池上 耕生

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

所在地 〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

電話番号 03-3964-1141 (代表) 受付日時：平日 9 時～17 時

研究担当者：血管外科 専門部長 松倉 満  
心臓血管外科 部長 河田光弘